

地域活動職員の紹介

大原自治振興会では、「甲賀市地域活動職員研修」の参加職員を4月より2人受け入れています。

■研修のねらい

- ・市職員の協働のまちづくりの理解や能力の向上
- ・自治振興会(地域)と市との連携強化

■研修参加職員的主要な役割

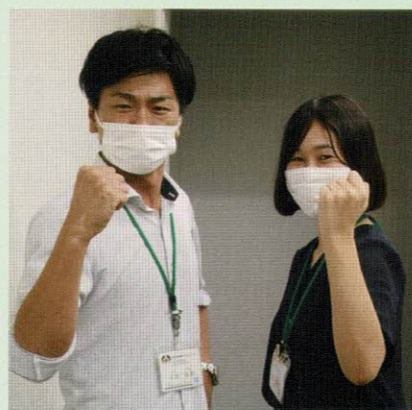
- ・自治振興会の会議への出席や、事業の企画支援
- ・自治振興会の要請に対する助言や情報提供
- ・自治振興会が必要とする市関係課やその他関係団体との連絡調整など

大原の皆様、はじめまして。谷口理恵と申します。水口町在住で、現在入庁8年目の市職員です。休みの日に、家で動画を見たり漫画を読んだりしながら昼寝している時間が何より幸せなインドア人間です。

普段は市役所の3階にあるマネジメント推進室にいます。担当業務は公共施設のマネジメントや公民連携の推進など。いったい何をしているのか、なかなかイメージがしにくい部署ではないでしょうか。

おおまかに言うと、人口減少や超高齢社会を背景に、市税の減少や社会保障費の増大が見込まれる一方、市民ニーズは多様化している今日の社会にあって、将来を見据えて望ましい行政サービスの在り方を考える部署だと思っています。そのためには、地域の皆様との協働が欠かせません。そこで、自治振興会による住民主体の地域運営の仕組みを現場で学ばせていただきたいと思い、今回の研修に手を挙げました。

コロナ禍にもかかわらず、受け入れてくださった大原の皆様には大変感謝しております。市職員として、そして皆様と同じ甲賀市民として、地域のために自分に何ができるか考えながら1年間がんばりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



大原の皆さま、はじめまして。中井浩喜と申します。

趣味は読書と珈琲です。心地よい夏の風がはいる部屋で、気に入った本を読みながら、エチオピアのフルーティーなアイスコーヒーを飲んでいる時間がしあわせです。このコロナ禍でひとり時間を楽しむことが増えましたが、以前はゆるい仲間たちとボランティア活動（カフェや漬物バイキングなど）をして楽しんでいました。

皆さまの地域づくりに対する自発性の高い姿勢や、大らかな人柄に「いいな～」と感動をしながら、研修に参加しています。文化的で創造的な地域活動を皆さまと一緒にやっていければうれしいです。

市役所では高齢者・障がい者・児童福祉とわたり歩いて、現在は地域共生社会推進室にいます。私からも少しは大原の地域づくりのために、もちだせるものがあれば良いなと思っています。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

facebook、LINE、YouTubeへの登録のお願い

大原自治振興会のfacebook、LINE、YouTubeへの登録をお願いします。



発行・問合せ：大原自治振興会
〒520-3435 甲賀市甲賀町相模173-1
TEL&FAX:0748-88-3111
e-mail: ohara10ku@gmail.com
編集：大原自治振興会 広報プロジェクト
発行月：令和3年9月

【編集後記】

新型コロナの影響はワクチン接種が進めば感染拡大のペースが落ちるのではないかと、今春の楽観論も最近では聞かれなくなりました。 コロナ禍でもできるまちづくり活動を、考えて、決めて、実践するしかない。 コロナ禍でも地域の暮らしは続くのです。

大原自治振興会便り 広報誌「おおはら」

News Letter Oohara

VOL.
39
R3.9

櫛野寺花手水【2021.6.17】

Content

02 プロジェクト、部会、関連組織の取り組み

06 地域活動職員の紹介

06 facebook、LINE、

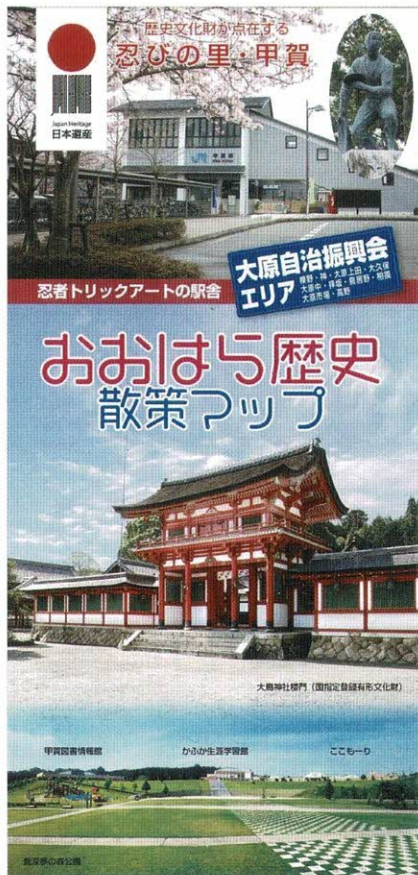
YouTubeへの登録のお願い



地域振興部：おおはら歴史散策マップを増刷 コロナ禍での健康維持のためにウォーキング

地域振興部は、「観光まちづくり」の一環として作成したおおはら歴史散策マップを、2021年3月に2,000部増刷しました。今年度新規に拝坂の古西医院に置いて頂きました。補充として、大鳥神社、その他市民センター、生涯学習館、甲賀駅、油日駅などにも置いて頂いています。

コロナ禍での健康維持のためにマップ片手に歴史を学びながらウォーキングもいいですよ。



ようこそおおはらの

大原へのご案内

大原の美しい自然、その中に遺された風習、史跡、神社仏閣、野仏など、人々の暮らしの営みの流れで変わっていき忘れ去られるものもあります。歴史を繕きたずねることは興味の尽きないことです。大原歴史探訪の道しるべとしてご利用ください。



大原自治振興会エリアへの交通のご案内

- JR 東海道線をご利用の場合
大原市境、高野、相模、鳥居野、拝坂、大原中、大久保、大原上田、神へは、甲賀駅が便利です。長狭駅は、油日駅が便利です。
- 新名神高速道路をご利用の場合
エリア中心部へは、甲賀山ICより車で約15分
甲南ICより車で約15分
- 名阪国道をご利用の場合
エリア中心部へは、上坂ICより車で約15分

お問い合わせ先

大原自治振興会

〒520-3492 滋賀県甲賀市甲賀町相模173番地1

TEL/FAX.0748-88-3111

悠久の歴史ロマン 大原を訪ねて

大原の里の成り立ち

甲賀町の中央部に位置し、北は佐山、南は油日と接しており、東部は南鈴鹿山脈を経て三重県に、西部は甲南町に接しています。東部地域は那須ヶ原山や高畑山が連なる山地で主に花崗岩からなり、一方大原川流域は古琵琶湖群からなる丘陵が広く、マダの葉を広く覆うような複雑な谷地形を形成し、重粘土地帯となっています。

大原の歴史

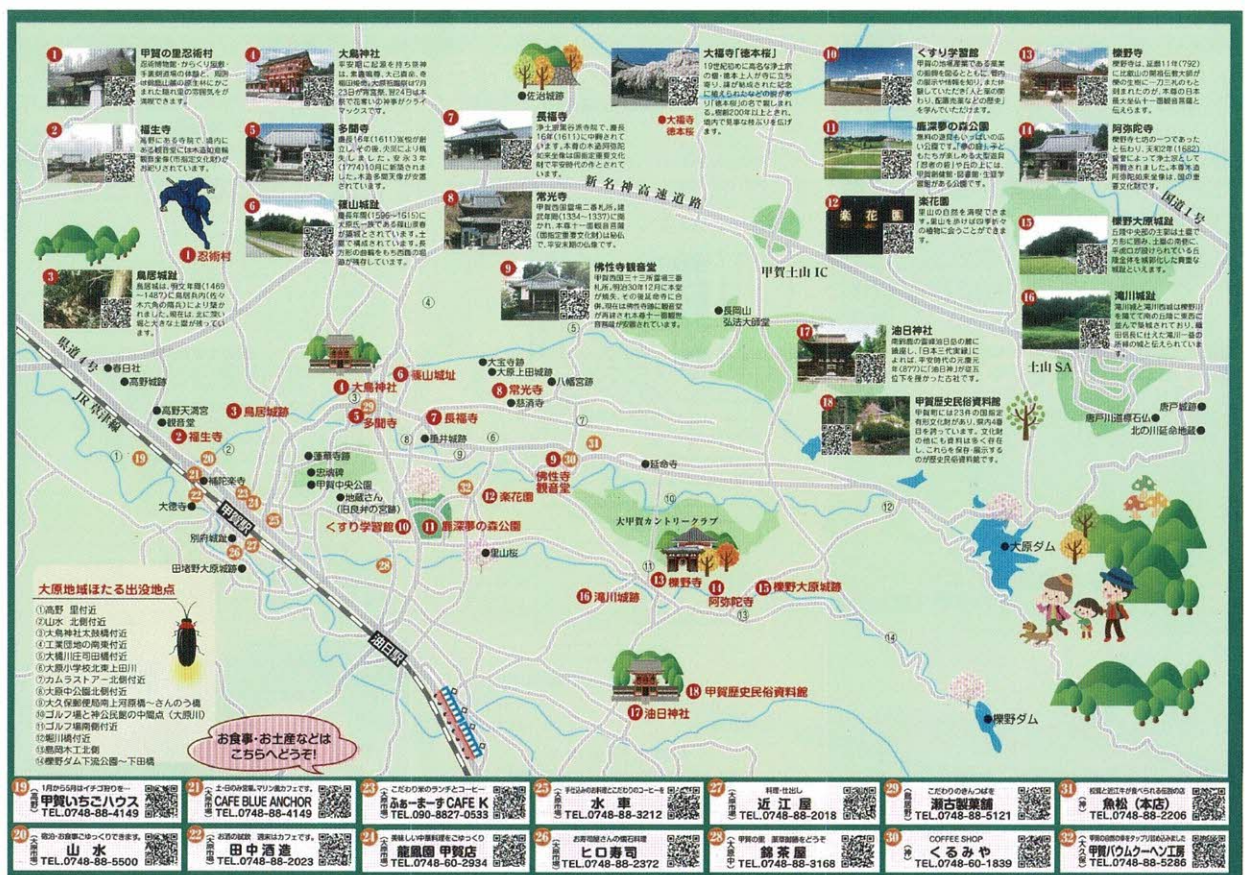
歴史は古く、長元5年(1032)の『左経記』に「甲可郡大原庄」とあり藤原道長の所領であったと考えられ、当地域はまだ伊勢や伊賀とも地理的に近いことから幾度となく戦場となり、元暦元年(1184)には伊賀で挙兵した平家兼と近江源氏の佐々木秀義との間で甲賀源平合戦が繰り広げられました。その後、応仁、文明期以降は佐々木六角氏の支配下に入っています。

大原谷と甲賀武士

中世の大原谷では甲賀武士大原氏が治めていました。大原氏は三河国設楽郡を出自し、鎌倉時代前期には近江に移ったとされ、戦国時代には、同じ姓を有する一族で大原同名中を組織し、掟を定めて共相的な運営を行っており、領域内に藤山城や垂井城、櫻野大原城など多数の城館を築いています。中でも藤山氏は徳川家への忠誠が厚く、慶長5年(1600)関ヶ原の前哨戦であった伏見城の戦いでも、藤山景春は徳川方として伏見城に籠城し討死しています。

江戸時代には、鳥居野村や大原中村、大原上田村、櫻野村では一つの村が複数の領主によって治められる「箱館」が見られました。大原での主な領主は、尾張を本拠とする旗本堀田氏で、櫻野村圓鏡院に堀田一通の墓があり、その子堀田河守一跡が高野村、大原上田村、櫻野村を治めていました。大原上田村では、同じ堀田一族であった堀田宮内一之も領地をもち、宮内は他にも相模村、鳥居野村、大久保村、櫻野村も治めていました。その他、神村、大原中村に領地をもった堀田安芸守重定は神崎郡山上に陣屋をもっていた山上藩の大名です。

大原祇園祭



地域教育部：おおはら親子天体観望にゅーすを小学生に配布

地域振興部は、おおはら親子天体観望にゅーすの第2号を、大原小学校の全生徒に7月に配布しました。

内容は、流星群についての紹介と、8月のペルセウス座流星群を見ましょうというご案内です。

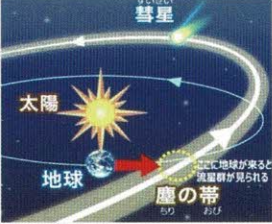
コロナ禍で人が集まらなくても取り組める活動です。

おおはら 親子
天体観望にゅーす

2021.07.12
2号

望遠鏡がなくても、親子で楽しめる天体観望の情報を不定期にお知らせいたします。

流星雨・流星群って何？



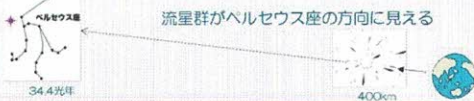
彗星の軌道（通り道）には、彗星が通った後に残した、沢山の塵が帯状に集まっています。この軌道に地球が突入する時、沢山の流れ星を肉眼でも見ることができます。これを、流星群・流星雨といいます。

これから見える流星群（例）
 みずがめ座δ流星群 7月12日～8月23日
 2021年ピーク 7月28日(月齢18)
 やぎ座流星群 7月3日～8月15日
 2021年ピーク 7月30日(月齢21)
 ペルセウス座流星群 7月17日～8月24日
 2021年ピーク 8月13日(月齢4)

絶好の条件の流星群を観察しよう

2021年のペルセウス座流星群は、8月13日4時頃がピークとなります。この状況は日本での観測に適しており、8月12日の夜半頃から13日の明け方にかけて、たいへん多くの流星を見ることのできるでしょう。また、12日頃は、ほとんど月明かりの影響がなく、とても良い条件で流星を観察することができます。

ペルセウス座流星群は、ペルセウス座のところに塵が集まっているのではありません。地球から見ると、ペルセウス座の方に見えるから、この名がつけられました。



流星群がペルセウス座の方向に見える

34.4光年 400km

親子天体観望会のお知らせ

日 時：8月13日 金曜日 19時30分より
 場 所：かふか生涯学習館 2・3学習室
 内 容：天体観望のお話（約30分）
 流星群観望（観望後自由解散）
 参加費：無料、小学生は保護者同伴で
 ※参加予約は不要です。コロナ感染対策のためマスク着用でご参加ください。

大原自治振興会 地域教育部
〒520-3435 甲賀市甲賀町相模 173-1
TEL: 0748-88-3111

ペルセウス座流星群と放射点

2021年8月13日 午前3時頃の星図



ペルセウス座流星群の放射点の調べ方

①北を向いて、北極星とカシオペア座を見つけます。

②カシオペア座のWの淵から少し離れたところが放射点です。

ペルセウス座の神話

ギリシャのセリポス島の王の弟は、ペルセウスの母を自分のものにするためにペルセウスを殺そうとします。そして、女の怪物メドゥサの首をとってくるように言います。メドゥサは髪の毛は蛇、大きな金色の鱗を持っていて、その顔を見た者はたちまち石になってしまうと言われていました。ペルセウスは果敢にもその怪物に挑み、見事打ち取ることになります。

夜空の星は同じように見えますが、...

地球は土星や木星のように太陽の周りをまわっている惑星で、月は地球の周りをまわっている衛星です。惑星のいくつかは小さな望遠鏡でも見えます。夜空に見える他の星は、太陽のような星で、地球からはるかに遠くにあり、どんな望遠鏡でも光の広がりしか見えません。また、動いていても遠くにあるため、静止しているように見えます。それで、これらを恒星と呼びます。有名なアンドロメダ大星雲の距離は250万光年です。太陽の光が地球へ届くのに約8分（150,000,000km）かかるのですが、その光の速さでも、250万年もかかる距離にあります。想像できませんね！太陽以外で地球に一番近い恒星は「ケンタウルス座」のアルファ星で4.3光年の距離にあります。

アンドロメダ大星雲



地球 太陽



太陽と地球の距離の約1500倍

地域教育部：大原学区子育てサロン（毎月第3火曜日10:00-11:30）

大原学区にお住いの、未就園児とその保護者の皆さんの交流を目的として、毎月第3火曜日の10時から11時30分まで、かふか生涯学習館の「夢の学習」教室にて、大原学区「子育てサロン」を開催しています。コロナ感染対策を十分に注意した上で開催しています。大原学区にお住いの、未就園児とその保護者の皆さん、ぜひご参加ください。7月より、プラレールも用意しており、好評です。



地域環境部会：かふか夢の森ごみ拾い（毎月第1日曜日8:00-9:00）

毎月第1日曜日 8:00から、「かふか夢の森」のごみのピックアップをしています。

7月からは特定外来生物である「オオキンケイギク」が公園周辺に群生しているため、駆除班とゴミ拾い班とに分かれて活動しています。

8月は花の季節が終わって、種ができていますが、ゴミ袋に回収するだけでは追いつかないというのが現状です。地道に少しずつしかできませんが、勢力拡大に負けないようにとの思いもいっぱいです。

あなたも大原地域の人と人、人と自然が出会える「かふか夢の森」、そんなかふか夢の森の環境美化活動に参加してみませんか？



地域環境部会：刈草処分の提案 雑草堆肥化

8月7日、朝から雨の予報でしたが、起きたら雨が降っていませんでしたので、市営住宅大原中団地の公園の草刈りをしました。今年3回目です。

集会所は、スマイル甲賀で、子ども食堂や学習支援に使っています。前回までは、刈った草をゴミ袋に詰めて焼却してもらっていました。

しかし今回は、地域景観整備事業に位置づける地域の刈草処分の提案として雑草堆肥化に挑戦。

今後は、各区に堆肥化枠（直径約110cm×深さ60cm）を2個配布予定です。



まちづくり事業（協働）：花いっぱい運動

21世紀の会駅前花壇植え替え

大原市場の住民有志らでつくる団体「21世紀の会」（会長岩崎延幸）は7月4日、甲賀駅前の花壇にマリーゴールドなど約800株の植替えをしました。花の苗づくりは甲南高校、苗の手配は自治振興会という3団体協働のまちづくり活動です。



里山円卓会議：やまの健康PJ 2021年度アクション開始

滋賀県では、住民自らが地域の周辺環境や地域に必要な暮らしの基盤等を振り返って見つめ直し、農地や森林等の維持保全の方法や、地域経済の活性化につながる地域資源などについて検討することにより、中山間地域の活性化を図ることを目的として、「やまの健康」推進事業を実施しています。

大原地域では自治振興会が主体となり、昨年度モデル地域に採択され、今年度、来年度と活動を行います。

6月22日は昨年度作成した2021年度の活動計画に沿って、9月までにすべきことを関係者で確認しました。いよいよ2021年度の次の4つのアクションを開始します。

- 1) やまの境界を明確にする取組
- 2) やまを見直すきっかけづくり
- 3) やまと楽しみながらつながる取組
- 4) やまの恵みを循環させる取組

円卓会議のメンバーは、コーディネーターは株式会社フォルテ森林技術経営研究所、会議メンバーは、大原自治振興会（地域環境部、若者PJ、運営委員会など）、甲賀市大原共有林財産区、甲賀木の駅運営委員会、甲賀愛林クラブ、森林組合、SATOYAMA+、立命館大学、県市の担当課です。



まちづくり事業（協働）：スマイル甲賀 家庭学習支援

スマイル甲賀は、甲賀市営住宅大原中団地集会所内で子ども食堂「スマイル甲賀大原っ子」を開催していますが、子ども達の居場所として見直しました。その結果、今年度4月から甲賀地域の小学生・中学生を対象とした家庭学習支援として「スマイル甲賀寺子屋」を開設しています。ここでは、学校で学んだことをしっかり身に着的けるための復習や、プリント等で自主的学習の場所を提供しています。また、わからないところ等を現役の先生をはじめ、先生OBの方が教えます。参加費は無料、各教室定員8名になるまで募集しています。

中学生-----数学・国語・英語・他の教科

小学生----算数・国語・他の教科

第一教室	日時	毎週 第1・2・4・(5)土曜日	午後 1時30分～3時30分	→算数(数学)・国語
			午後 3時30分～4時15分	→英語
		第3土曜日	午前10時～12時	→算数(数学)・国語

第二教室	日時	毎週月曜日	午後4時～6時	→算数(数学)・国語・英語
------	----	-------	---------	---------------

参加費 無料

持参物 教科書・宿題やプリント他・水筒

場所 甲賀市営住宅大原中団地集会所（大原中1065）

もっと勉強をしたいと志す児童・生徒や学びたいが学ぶ環境の厳しい児童・生徒の皆様のご参加をお待ちしています。

主催：スマイル甲賀・夢の学習 後援：甲賀市社会福祉協議会・大原自治振興会
担当：井村、松本、難波、雲

お問合せ 大原自治振興会 電話・FAX0748-88-3111